

## 昭和30・40年代 国民皆保険・皆年金と社会保障制度の発展

・経済成長に伴い、一般国民が疾病にかかったり、老齢になるなどにより貧困状態に陥ることを防ぐために、昭和36年(1961)に国民皆保険・皆年金を実現。

・また、更なる高度経済成長に伴い、年金給付額の改善や老人医療費の無料化がなされ、この時期に社会保障制度は大幅に拡充。特に、昭和48年(1973)は「福祉元年」と呼ばれた。

### 保健医療および衛生

#### ○国民皆保険の達成

- ・新国民健康保険法の制定

#### ○医療制度の拡充

- ・老人医療費の無料化
- ・被用者保険の家族の7割給付の実現
- ・高額療養費支給制度の創設
- ・各都道府県に医科大学の整備

### 福祉および所得保障

#### ○国民皆年金の達成

- ・国民年金法の制定

#### ○年金給付の充実

- ・年金水準の漸次引上げ、平均賃金の60%設定
- ・物価スライド制の導入

#### ○保育所の整備と児童手当制度の創設

- ・保育所数の増加
- ・児童手当法の制定